

短 報

和歌山県白浜町椿の海岸に漂着したスジイルカ *Stenella coeruleoalba*

岸田 拓士*・田名瀬英朋*・久保田 信*

Takushi KISHIDA, Hidetomo TANASE and Shin KUBOTA:

A striped dolphin *Stenella coeruleoalba* stranded on the coast of Tsubaki, Shirahama, Wakayama, Japan

2005年5月25日、白浜町椿の海岸に小型の鯨類が漂着した。現場は黒崎の北側海岸の潮上帯の岩盤上で(図1)、著者らの到着時には本個体はすでに死亡しており、かなりの腐敗が見られた。本個体からはDNA抽出、その他の解析用試料として胸ビレ付根付近の筋肉片と上下の歯数本を採取した。これらは現在、京都大学瀬戸臨海実験所にて冷凍保管している。

この個体は、日本鯨類研究所の後藤睦夫博士のミトコンドリアDNAの鑑定によってスジイルカ *Stenella coeruleoalba* (MEYEN) であると推定された。体長は230 cmであり、性成熟に達していたと推測される(粕谷, 1996)。生殖孔の形状からオスである。

スジイルカは世界中の熱帯から温帯にかけて分布している外洋性のイルカである。日本近海でも三陸以南の太平洋と東シナ海の水温18℃以上の海域に生息が確認されており、紀伊半島においては、捕獲枠が制限される1992年までに太地町などに年間数千頭が水揚げされてきた(粕谷, 1996)。本種の紀伊半島への漂着に関して

は、東海岸に1例、西海岸に2例の記録があり(岸田・久保田, 2005)、白浜町への漂着(岸田ほか, 2003)は今回が初記録である。

謝 辞

本個体のサンプルからDNAによる種の判別をして頂いた後藤睦夫博士・石川 創博士をはじめとする日本鯨類研究所の皆様へ感謝します。

引 用 文 献

- 粕谷俊雄, 1996: スジイルカ, in 日高敏隆監, 日本動物大百科, 2, 74-76pp. 平凡社, 東京.
- 岸田拓士・森阪匡通・久保田 信・天野雅男, 2003: 和歌山県白浜町番所の南浜にて発見されたハンドウイルカ *Tursiops truncatus*. 漂着物学会誌, 1, 25-27.
- ・久保田 信, 2005: 紀伊半島に迷入・漂着する鯨類の特徴—紀伊半島の東海岸と西海岸を比較して—. 南紀生物, 47(1), 67-68.



図1 和歌山県白浜町椿の海岸に漂着したスジイルカ

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所